

「衛生」分野で世界を目指す

金澤 太郎

(株式会社ダイナミック・サニート 代表取締役)



■歴史

当社は昭和44（1969）年に、私の祖母がネズミ駆除業として大館市で創業しました。菓子問屋の嫁として菓子倉庫のネズミ問題に悩まされ、ネズミの習性や対策を研究しながら独自の駆除技術確立し、商品も開発しました。最初は地元の商店などにボランティアでネズミ退治サービスを行っていましたが、あるお客様から事業化を促され、創業を決意しました。羽田が国内唯一の国際空港であった時代に、羽田空港ターミナルビルのネズミ防除管理契約を受注し、それをきっかけに東京、盛岡、秋田市と営業所を増やしました。サービス内容も防虫やシロアリ駆除などに拡充し、ペストコントロール業界において知名度のある会社へと成長しました。いわゆる3K産業であり、社会的地位も低く、さらに女性が経営することへの世間の風当たりも強かったものの、祖母はこの仕事に情熱とプライドを持って会社を成長させ、現在の基盤を築いてくれました。

二代目の父が経営を引き継いでからは、医療施設や食品製造施設に対する衛生管理プロセスのコンサルティング、防菌・ウイルス対策、設備の改修や清掃など、衛生管理の課題にトータルで取り組む企業へと発展しました。社員の質も向上し、組織としてより成熟できました。サービスの幅と専門性が高まり、ソフト・ハードの両面から問題解決に取り組み続けた結果、「衛生管理のことなら何でも相談できる会社」として認知度が高まりました。この時期に中核を担った社員たちが現在幹部を務めており、成長を支える人材とチームが形成されました。

■事業継承

三代目である私は、2009年まで東京やオーストラリアで、コンサルティング会社や人材紹介会社で大手企業相手の仕事をしていました。様々な業界、さまざまな文化的背景の方々と仕事をする中で、「一度きりの人生、本当に困っている人の役に立ちたい」、「自分にしかできない仕事をしたい」と考えるようになりました。そして、家業に目を向けたとき、この仕事は公衆衛生や食の安心・安全を守る重要なエッセンシャルサービスでありながら、業界としてほとんど認知されていないということを知りました。また、長年働いてくれている社員や、地域のお客様のサポートのおかげで存続できてはいるものの、過去のやり方を継承するだけでは次世代へ繋ぐ前に消滅してしまうと感じました。



先々代、先代と築いてくれたベースを活かし、成長し続けられる企業にすることは、人生をかけて取り組む価値のある仕事だと確信しました。

私は父に跡を継げと言われたことは一度もなく、父は私の入社を全く想定していませんでした。履歴書を提出し、父と当時の役員に面接を申し込み、ヒラ社員として、それまでより大幅に低い給与で採用してもらいました。まだ会社に貢献できるかどうかも分からなかったのも、それは当然のことでした。体力には自信があったので、最低でも現場要員として給与分の価値は提供できるだろうと考えていました。

最初の2年間は害虫駆除の現場作業に集中し、社員がどのような想いで働いているのか、お客様が何を求めているのかを理解することに努めました。3年目から6年目は営業をしながら、マーケティングやデジタル化に取り組み、国内外の業界団体のイベントにも積極的に参加し、知識の習得と人脈づくりに励みました。この時期には、業績向上に貢献できているという実感と自信を得た一方で、急速に進む秋田県の少子高齢化、会社の将来、社員たちの将来に対して、不安と焦りも感じるようになりました。

秋田県内だけで展開しては不十分と考え、7年目から10年目には、東北地方全域で衛生サービスを展開する準備を進めるとともに、シンガポールとマレーシアに現地法人を設立し、海外展開を開始しました。外貨を稼げる企業を目指すことで、持続可能な成長を実現しようと考えました。ある程度将来へのビジョンが明確になった2019年1月に父から経営権を譲り受け社長に就任しました。

■企業理念とビジョン

当社は、サービス業である以上、社員の質、意欲、想いがサービス品質と顧客満足度に直結すると考えています。そのため、会社としての理念と目指す姿を明確に示し、社員一人ひとりが自主的に目標を設定し、自律的に動ける組織を目指しています。

<経営理念>

環境衛生の視点から、全ての人が健やかに生きられる社会をつくる。

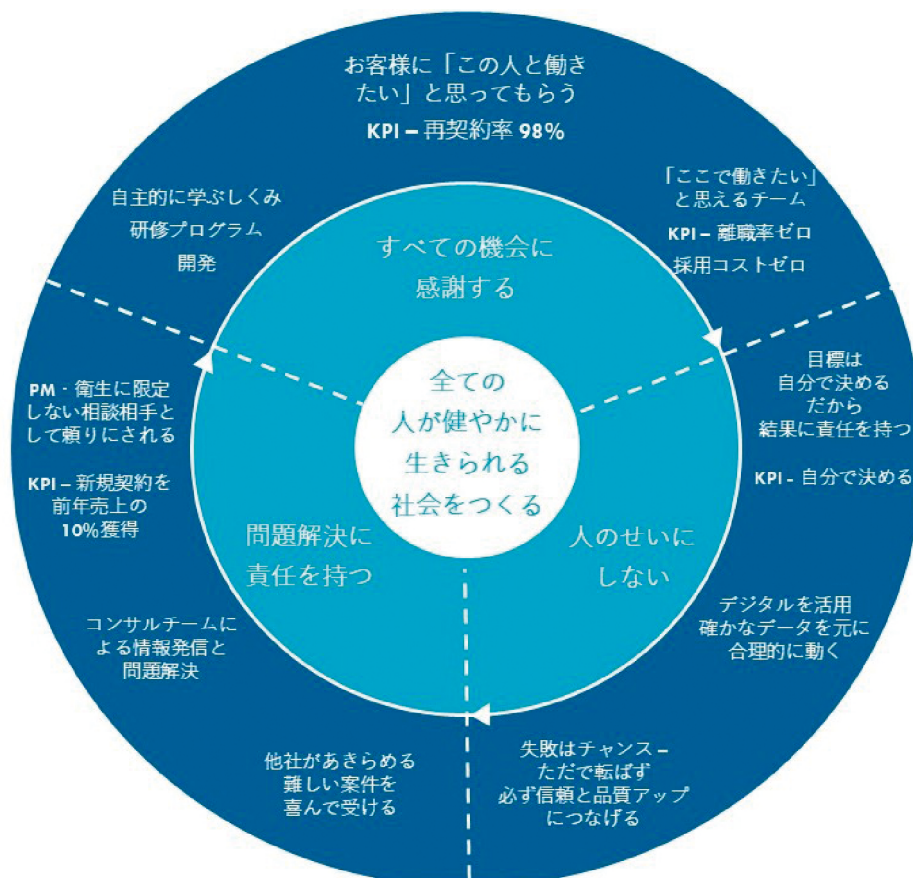
<目指す姿（ビジョン）>

- ・どんな環境で育った人でも活躍できる
- ・社会に必要とされる仕事ができる
- ・一緒に働きたくなる人・企業である

また、理念やビジョンを単なるスローガンに終わらせないために、社員の心に浸透させる工夫をしています。文字として伝えるだけでなく、研修やワークショップを通じてグループでの対話を行い、納得感と記憶への定着を高めています。



(社内ワークショップの様子)



(価値観)

■現在と未来

現在、以下のサービスを東北地方全域と東南アジアで提供しています。

・衛生環境構築

新規施設の建設、医薬品・食品の安全な提供、業務効率・コンプライアンスの向上、取引要件の達成、品質・顧客満足度向上など、幅広く対応。

・ウイルス・微生物制御

クリーンルームの清掃・殺菌、カビ対策・カビ除去、消毒・消臭加工など、様々な業態に対応したサービスを提供。

・I P M（総合的有害生物管理）

I P Mの理論に基づき、ネズミ・飛翔性昆虫・歩行性昆虫の防除管理プログラムの設計から施工までを実施。

・設備清掃・メンテナンス

工場・製造設備の清掃、浄化槽・グリーストラップのメンテナンス、貯水・給排水設備の消毒、空調・給排気設備のメンテナンスなど、トータルなサービスを提供。

そして、これからは、①将来的に東北全ての県に営業拠点を置くこと、②デジタル化とデータ活用による生産性の高いオペレーションづくり、③社員が幸せを感じ自律的に助け合えるチーム文化づくり、④東北以外の地域への進出、⑤グローバル企業におけるサプライチェーンの川上から川下まで包括した防虫コンサルティングでアジアNo.1の会社になる、ということを目指していきます。



（衛生監査業務の様子）



衛生の分野は日本が先進国である一方で、その価値があまり輸出されていません。経済成長が著しいアジア各国では、成長速度に衛生レベルが追いついておらず、ギャップが生じています。国内のお客様の高い要求レベルに応えることで培った専門技術や知識を海外に輸出する一方で、海外で築いた人脈や取引関係を日本国内に逆輸入したいと考えています。

国内の展開については、衛生業界に限らず、全ての業界で人材確保がキーとなっています。特に東北地方では少子高齢化による労働人口の減少が著しく、仕事はあってもマンパワーが足りずに仕事を断っている同業者が増えています。また、経営者層の高齢化と後継者不足も深刻な問題です。

当社は人を中心に置いた経営を行うことで、真に社員の幸せに貢献し、それが良い人材の定着、採用力の強化にもつながり、結果的に競争力アップ、永続的な発展につながると信じています。

■業界・地域社会への還元

創業者と先代社長の業界への熱意と努力、そして信頼して共に働いてくれる役員・社員、継続的に取引してくださるお客様のおかげで当社は存続することができており、社員も生活を営むことができます。そのことに感謝しない日はありません。そして、これまで私が受け継いできたもの以上のものを、業界や地域社会に還元しなければならないという責任を感じています。

業界への貢献としては、グローバル業界の活動にも積極的に関わり、防虫・ペストコントロール業界のレベルアップに取り組んでいます。アジア・オセアニア害虫駆除連盟（FAOPMA）という国際団体の会長も拝命しており、毎年世界中から1,000人規模の業界人が集まる国際サミットや展示会の企画・運営にも携わっています。

また、地域社会においては衛生面の問題解決を通じてお客様のビジネス成長に貢献し、頂くサービス料金以上の高い付加価値を生み出し、雇用を守るだけでなく社員に業界水準や地域水準を超えた給与を支払うことが企業としてできる最大の貢献だと思っています。

ニッチ業界の中小企業でも、未来を見据え、世界を視野に入れば、どのような経済環境でも生き残っていけると信じ、同時にお世話になっている業界や地域社会に還元しながら、事業の成長に取り組んでいきたいと思っています。



(ペストサミット)

会 社 概 要

- | | | |
|----|---------|---|
| 1 | 会 社 名 | 株式会社ダイナミック・サニート |
| 2 | 代 表 者 | 代表取締役社長 金澤 太郎 |
| 3 | 所 在 地 | 〒010-0802秋田県秋田市外旭川字三後田175 |
| 4 | 電 話 番 号 | 018-868-2568 |
| 5 | F A X | 018-868-2535 |
| 6 | U R L | https://dsnt.jp |
| 7 | 創 業 | 昭和44（1969）年2月 |
| 8 | 設 立 | 昭和46（1971）年6月 |
| 9 | 資 本 金 | 2,500万円 |
| 10 | 従 業 員 数 | 34名（2025年3月現在） |
| 11 | 事 業 内 容 | 衛生管理サービス、防虫コンサルティング、ネズミ・害虫駆除、
設備清掃、海外事業 |
| 12 | 経 営 理 念 | 環境衛生の視点から全ての人が健やかに生きられる社会をつくる |